

施設名	小島社会教育館			指定管理者の名称	株式会社 山武	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
①業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
②類似施設の管理実績	平成 21 年 3 月 31 日現在 東京都北区滝野川体育館他 2 6 施設					
③経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	[単位：百万円]	
	平成 18 年度	67,640	53,489	14,151		
	平成 19 年度	71,441	54,176	17,265		
	平成 20 年度	68,965	53,056	15,908		
<b>2. 施設の概要</b>						
①所在地	台東区小島 1-5-2 台東小島ビル 2 階 都営住宅と併設					
②設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教養の向上に助力する。					
③利用者	・社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。・教育委員会や社会教育館が行う事業に参加する区民。・その他一般団体。					
④開館日・開館時間	火曜日～日曜日 9:00～22:00、月曜日 13:00～22:00 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4) 20 年度開館日数：341 日					
⑤規模	ホール 100 人 第一会議室 30 人 第二会議室 20 人 第三会議室 20 人 第一和室 15 人 第二和室 30 人					
⑥人員体制	週 40 時間勤務 2 人 週 30 時間勤務 4 人					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
①委託事業	1. 区民の生涯学習・社会教育活動への施設の提供 2. 生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 3. 施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 4. 生涯学習ラーニングスクエアの実施					
②自主事業	2 講座実施 8 回 延参加人数：115 人					
<b>4. 施設の稼働状況等</b>						
		利用件数	利用人数	利用率		
	平成 18 年度	1,627 件	22,946 人	27.5%		
	平成 19 年度	1,544 件	22,561 人	26.3%		
	平成 20 年度	1,728 件	24,743 人	29.4%		
<b>5. 予算決算の推移</b> (単位：円)						
年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委託料		13,373,000	12,834,000	13,899,000	14,456,000
	料金収入等		3,200,000	3,600,000	2,500,000	2,010,000
	管理経費		16,573,000	16,434,000	16,399,000	16,466,000
決 算	委託料		13,373,000	12,834,000	13,770,000	
	料金収入等		2,392,290	1,768,824	1,682,945	
	管理経費		15,992,226	15,882,951	15,452,945	
	収 支		△226,936	△1,280,127	0	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度 9月現在
利用率	%	32.0	26.3	29.4	30.9
利用件数	件	1,800	1,544	1,728	862
7. 評価項目					
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目					
評価の観点	評価項目				
①事業の運営 平均 [2.1]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [3] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]			
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]			
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [3]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]			
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]			
8. 評価					
A+ (優良)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準をおおむね満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。					
評価の観点	評価	説明			
①事業の運営	A	開館時間である9時から利用者が施設を利用できるようにするため、規定時間前である8時30分から施設を開館している。			
②施設の維持管理	A	区からの申し出は社会教育センターの所長を通して対応できている。今後は社会教育センターと連携を取って、社会教育館が自主的に対応できるように取り組んでいく。			
③利用者の満足度	A+	貸室数が社会教育館の中では最も多く、利用率を上げるのが困難な状況の中ではあるが、利用率の増加が図られている。			
④歳入歳出	A	歳出については適正に行われており、歳入は事業計画上の目標に近いしているため、引き続き歳入確保の努力を行っていく。			
⑤総合評価	A	貸し部屋数が一番多いため、利用率をあげることは大変だが、利用者数は年々伸びている。空調設備を新しくしたこともあり、現在利用率の低い第2会議室と第1和室のさらなる利用者拡大に努めていく。			
9. 課題への対応等					
指定管理者として引き続き3年間管理運営を行うことになったが、利用者の拡大のために広報活動を活発にするほか、自主事業の数を増やし内容の工夫を社会教育センターと連携して努力していく。					